



筑波大学  
University of Tsukuba

情報学群

# 知識情報・図書館学類

College of Knowledge and Library Sciences  
School of Informatics



2024



つなぐ—知識、情報、人。





## 予測困難な時代、 知識の力で切り拓け

情報技術が発展し、我々は様々な知識や情報を容易に入手できるようになりました。一方で、社会は多様化・複雑化し、将来を見通すのはますます困難になっています。この社会状況において、理系だけ、あるいは文系だけの知識で問題を解決するのはもはや困難であり、文理の枠を超えた知識の横断的活用が必要不可欠です。

このような時代を見据えて、知識情報・図書館学類では、かねてから文理融合型の教育研究を推進して参りました。本学類では、知識、情報、人をつないで新たな知を創出し、広い視野をもって問題を解決できる人材を養成します。意欲ある皆様のご参画を心から歓迎いたします。



知識情報・図書館学類長  
鈴木 伸崇  
Nobutaka Suzuki



# トピックと数字でみる 知識情報・図書館学類

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

筑波大学では幅広いスキルを獲得するための科目群を修得することで得られる「汎用智」と高度な専門知識を獲得することで得られる「専門智」をバランスよく学ぶことで、これらの知識が一体となった「総合智」を修得することを教育の要としています。本学類の専門基礎科目と専門科目は、「専門智」を構成する科目群です。また本学類の学びは理論から実践におよぶ多様な要素から構成されていることから、筑波大学の特徴である総合智教育と親和性の高いカリキュラムとなっています。



## 数字でみる筑波大学

2022 年度在学者数

9,631 名

総合大学ならではの日本屈指の規模

学生の出身地

47 都道府県

学生は全国から

留学生の受け入れ

100 を超える  
国・地域

さまざまな国と地域からの留学生

図書館数

5 館 273 万冊

図書館情報学に関する図書館も

蔵書数

海外オフィス

12 ケ国・地域 13 拠点

「国際性」は筑波大学の柱の一つ

## 数字でみる知識情報・図書館学類

教員：学生

1 : 3

教員1人当たりの卒業論文指導学生数は平均3人と  
細やかな少人数教育

学生男女比

1 : 1

情報学分野では珍しい比率

国際インターンシップ

5 ケ国・地域

たくさんの学生が異文化を経験

総合選抜での受入定員

45 名

学内1位の関口の広さ

駅から徒歩

10 分

首都圏から通学1時間以内

創設

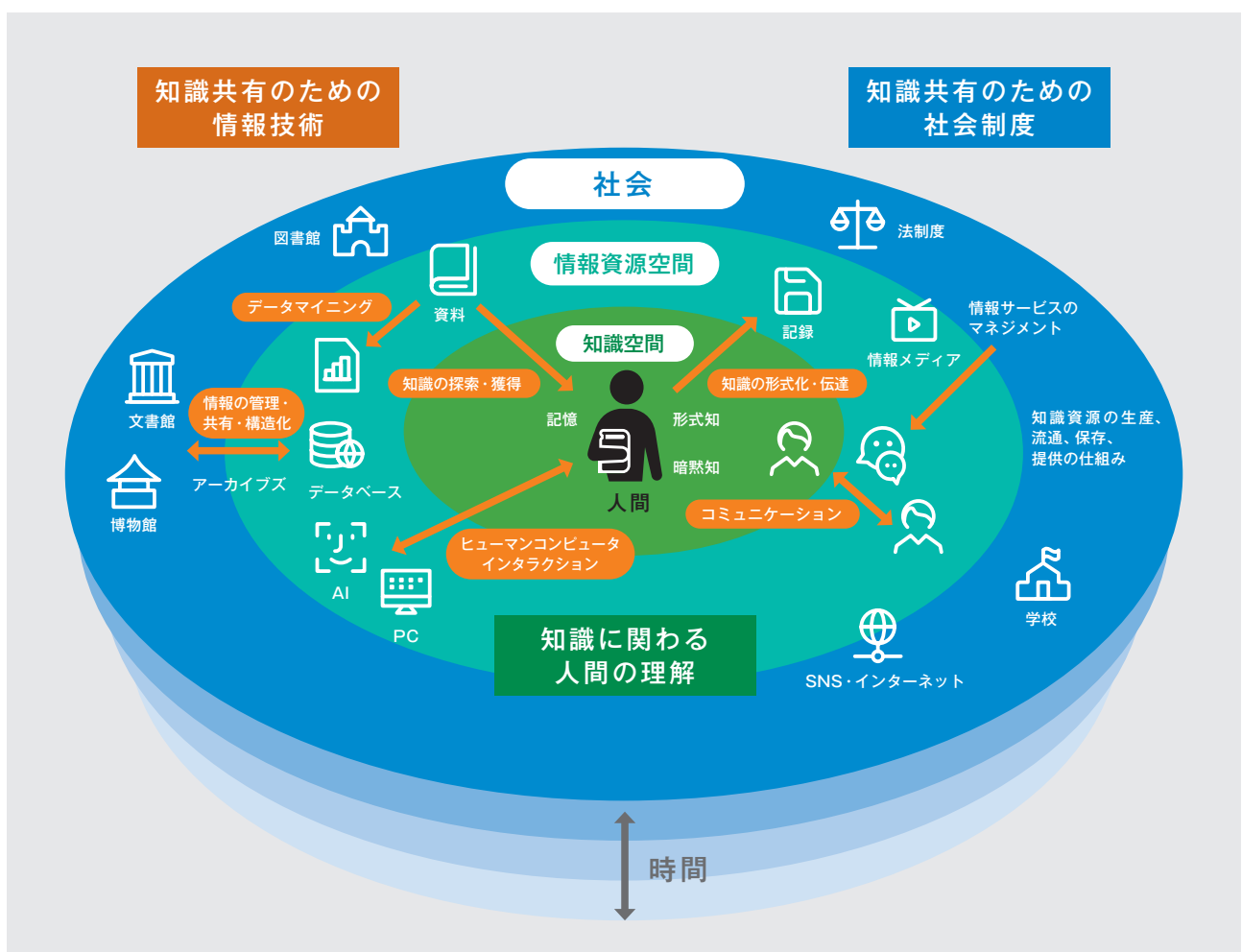
1921 年

歴史は文部省図書館員教習所から

# 知識情報・図書館学類の学び

- 特色
- 学び
- 在学生の声
- 進路
- 入試情報

知識情報・図書館学類では、高度情報社会における知識や情報を有効活用するための多種多様な仕組みを扱います。知識や情報を有効活用するには、その性質を的確にとらえ、それらを扱うシステムを設計・構築する必要があります。また、システムを創るには、制度や文化、マネジメント方法を考えなければなりません。本学類では、知識科学、知識情報システム、情報資源経営の三つの主専攻が協力し、知識や情報と社会をつなげる人材を育成します。



## 読書レビューアプリ・BOOK MARRYの導入

知識情報・図書館学類では、学類の特徴を活かして、読書を介したコミュニケーションの活性化、日本語および英語の読解力向上、豊かな文章能力の涵養に取り組んでいます。



この取り組みは、知識情報・図書館学類に所属する全ての学生、教員が参加する読書レビューアプリ・BOOK MARRYにて行われます。BOOK MARRYの導入にあたっては、テスト導入を行い、座談会等を通じてアプリの効果やユーザビリティを検証し、開発元へフィードバックするなど、学生と教員、開発元の協働によってブラッシュアップを行いました。読書を通じた取り組みで、さらには学生と教員が切磋琢磨するという、知識情報・図書館学類らしさを体現したユニークな試みです。

# 主専攻で何を学ぶのか？

## ■ 知識科学主専攻



### 人間

知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用

## ■ 知識情報システム主専攻



### 情報技術

知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用

## ■ 情報資源経営主専攻

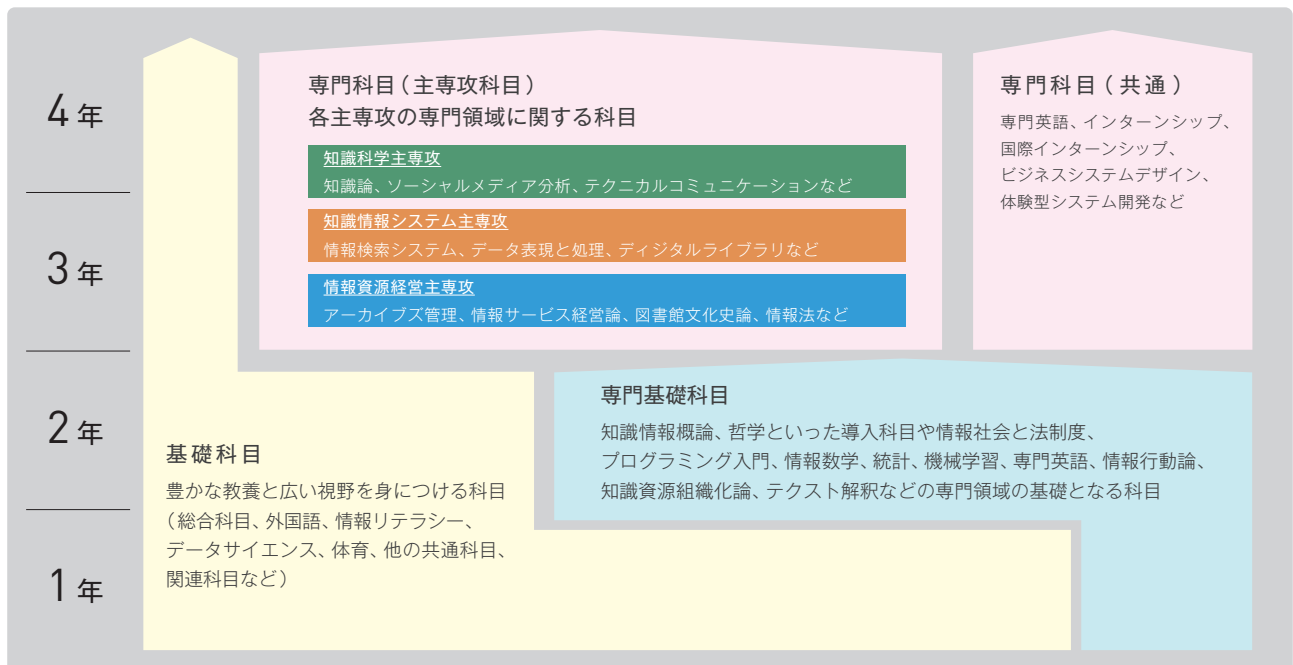


### 社会

知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用

## カリキュラム

1年次は豊かな教養と広い視野を身につけ、基礎的な知識や技術を習得し、2年次は1年次の学びを段階的に深めます。3年次では主専攻のいずれかに属して、自主専攻の科目により専門性を高めると共に、他主専攻の科目により幅広い学びを継続します。3年次秋学期には研究室に所属し、4年次に指導教員のもと卒業論文を執筆します。



### 取得できる資格

知識情報・図書館学類では、司書、司書教諭、教育職員免許の資格が取得できます。司書資格に必要な科目は学類の科目を学ぶ過程で無理なく修得できます。教育職員免許と併せて、指定の科目を修得することで、司書教諭を取得することができます。そのほか、所定の科目を修得することで、テクニカルコミュニケーション専門課程の修了認定が受けられます。

### ▶ 取得できる資格の一例

- 司書
- 司書教諭
- 中学校教諭一種免許状（社会・数学）
- 高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）
- テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定  
（定められた科目を履修し JTCA に申請）

# 教員紹介

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

## 知識科学主専攻



于海涛

- 機械学習
- 情報検索
- 知識グラフ・情報知能



後藤 嘉宏

- メディア社会学
- 社会思想史
- マス・コミュニケーション論



三波 千穂美

- テクニカルコミュニケーション
- サイエンスコミュニケーション
- コミュニケーター育成



上保 秀夫

- 人間情報インタラクション
- ユーザ研究実験法
- 情報検索システム



辻 慶太

- シソーラスの自動構築
- レファレンスサービス
- 図書推薦システム



寺地 美奈子

- 映像メディア
- メディア技術史
- メディア社会学
- 映像文化論



照山 絢子

- 文化人類学
- 医療人類学
- コミュニケーション学



歳森 敦(兼任教員)

- 選択行動モデル
- 選好意識の解明
- 地域施設計画



真榮城 哲也

- 生命現象の解明
- さまざまなモノの関係性
- 専門知識の利用



松林 麻実子

- 情報行動
- メディア分析
- コミュニケーション



松原 正樹

- 認知科学
- 感性工学
- 身体知と芸術表現



叶 少瑜

- メディア
- ソーシャルサポート
- 精神的健康
- 対人関係



横山 幹子

- 知識の確実性
- 知識の共有
- 言語と思考



芳鐘 冬樹

- 研究者の生産性
- 研究協力ネットワーク
- 計量書誌学

## 知識情報システム主専攻



伊藤 寛祥

- 機械学習
- ソーシャルネットワーク分析
- ヒューマンコンピュータインタラクション



宇陀 則彦

- 知識共有現象の解明
- 情報資源の多層化マネジメント
- スマートライブラリ



大澤 文人

- 教育におけるマルチメディアの活用
- 教育におけるコンピュータの活用



加藤 誠

- 情報検索
- Webマイニング
- オープンデータ



金 宣經

- ヒューマンコンピュータインタラクション
- 学習支援システム
- 認知科学



阪口 哲男

- Linked Dataに関する開発支援
- クラウドソーシング基盤技術と応用
- 情報共有・伝達の技術基盤開発



鈴木 伸崇

- データベース
- データ工学
- アルゴリズム



関 洋平

- 情報アクセス
- 自然言語処理
- コミュニケーション支援



高久 雅生

- 情報行動
- 電子図書館
- 情報検索



時井 真紀

- 情報表現
- 計算物理
- 計算機シミュレーション



松村 敦

- 読み聞かせと絵本推薦
- 情報探索・情報検索・情報推薦
- Web情報システム



落合 陽一(協力教員)

- HCI
- VR
- CG



森嶋 厚行(協力教員)

- データ工学／ビッグデータ
- 集合知／クラウドソーシング
- ソフトウェア工学



森継 修一(協力教員)

- 数式処理のアルゴリズム
- 計算幾何学
- 和算研究への応用



知識情報・図書館学類の専門教育の内容は、知識科学、知識情報システム、情報資源経営の三つの主専攻に集約されています。知識科学主専攻は「人間」、知識情報システム主専攻は「情報技術」、情報資源経営主専攻は「社会」と、主専攻ごとに設定したキーワードに基づき幅広い視野を養います。専門領域の内容に即した、人間、情報技術、社会の結合と相互の役割を理解するための科目を展開し、知識情報のスペシャリストを育成します。

## 情報資源経営主専攻



池内 淳

- 公共図書館政策
- 図書館評価



大庭 一郎

- 情報サービス  
(レファレンスサービス)
- 公共図書館
- 図書館職員



小野 永貴

- 学校図書館
- 学習情報資源
- 情報教育



小泉 公乃

- 図書館経営
- パブリックガバナンス
- 公共圏



白井 哲哉

- アーカイブズ学
- 図書館地域資料
- 災害アーカイブ



鈴木 佳苗

- 読書・学習環境  
(学校図書館など)の  
整備と活用
- メディア利用の影響
- メディア教育



高良 幸哉

- 情報法
- 情報保護法制
- 情報刑法



武田 将季

- 超高齢社会サービス
- ユニバーサルサービス
- 情報リテラシー



呑海 沙織(兼任教員)

- 超高齢社会における  
図書館と認知症支援
- 知識情報基盤
- 図書館文化史



原 淳之

- ヨーロッパの図書館
- 図書館文化史
- 図書館の国際比較



BARYSHEV  
EDUARD

- アーカイブズ学
- 国際関係史
- 比較社会学



村井 麻衣子

- 知的財産法
- 著作権法
- 著作権の制限規定



村田 光司

- アーカイブズ学
- 記憶情報の伝達と管理
- 西洋前近代史



吉田 右子

- 公共図書館論
- 公共図書館サービス
- 公共図書館史



綿抜 豊昭

- 日本の図書文化
- 江戸の書籍文化
- 和歌・連歌・俳諧

## 卒業研究について

知識情報・図書館学類では、3年次の秋学期に研究室配属を行います。研究室に配属された後、指導教員やゼミ生とのディスカッション、文献調査などを通じて研究テーマを決定し、約1年間に渡ってそのテーマに取り組みます。まとまった大きさの思索の展開や調査分析、研究開発などを通じて、問題の構想力、解決力と創造性を養うことができます。以下は卒業研究の題目の一例です：

### 知識科学主専攻

- 化粧水クチコミにおける内外的要因が読み手の評価に与える影響
- 筑波大学総合学域群生の大学進学と学類選択に関する研究
- 生きづらい人のためのシェアハウスに関する研究
- 『Le Petit Prince』日本語版における翻訳間の類似性・差異性—グッドマンの記号論を用いた分析—
- 日本国内におけるブラック部活について—当事者の語りを通じて—

### 知識情報システム主専攻

- Efficient Human+AI Crowd Task Assignment with AI Worker Filters
- 他者比較を通じて客観的な自己分析へと導くランニング支援システムの構築
- プログラミング言語リファレンスに対する質問応答
- マルチエージェント強化学習に基づくソーシャルネットワークの将来予測手法
- 大学の学びを基にした図書館内探索行動による興味の発見

### 情報資源経営主専攻

- WEB上における大学図書館紹介動画の現状
- 図書館資料へのアクセスの容易化—令和3年著作権法改正を踏まえて—
- 書道学習における法帖デジタルアーカイブの利用可能性について
- 着物柄見本のデータベース化と利用について
- 公立図書館における回想法を用いた認知症支援

卒業研究の題目と抄録を学類Webサイトで公開していますので、ぜひご覧ください。

## Learning facilities

# 学修施設紹介

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

知識情報・図書館学類では、下記に加えて講堂、食堂、ラウンジなど、様々な施設を利用することができます。また、ビブリオバトルスタジオ(仮)やウェルビーイングルーム(仮)を新設予定です。

### FACILITY 01

#### 図書館情報学図書館

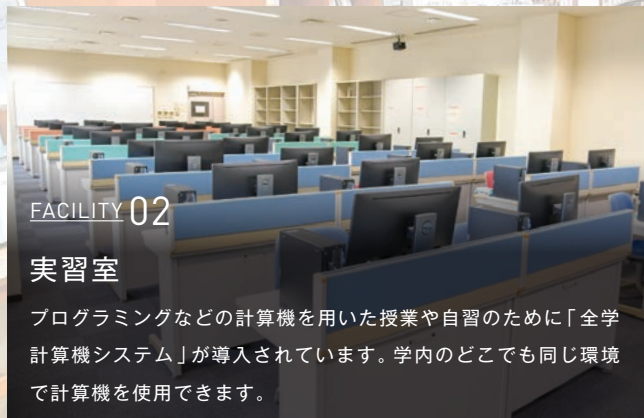
図書館学や情報学の資料に加えて、その他の分野の図書、新聞や雑誌、幅広い分野の教養図書、英語教材などを揃えています。学期中は平日8時半から22時まで開館し、パソコンやWi-Fiもあり、個人やグループでの学修を支援しています。



### FACILITY 02

#### 実習室

プログラミングなどの計算機を用いた授業や自習のために「全学計算機システム」が導入されています。学内のどこでも同じ環境で計算機を使用できます。



### FACILITY 03

#### 無人コンビニ

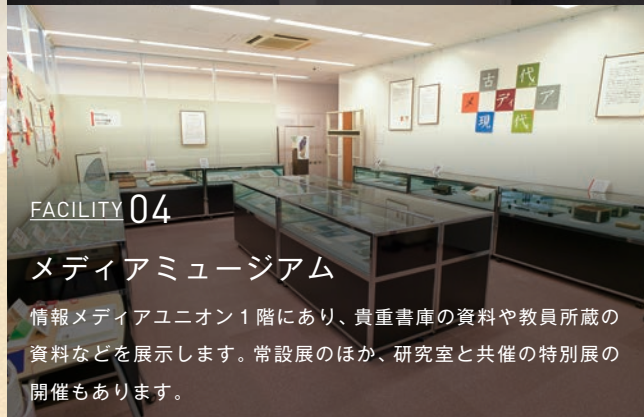
無人キャッシュレス店舗です。飲料、菓子類、インスタント食品、日用品、文房具などを購入できます。



### FACILITY 04

#### メディアミュージアム

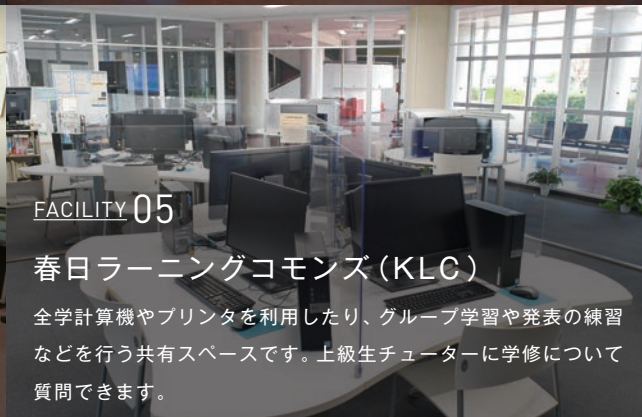
情報メディアユニオン1階にあり、貴重書庫の資料や教員所蔵の資料などを展示します。常設展のほか、研究室と共催の特別展の開催もあります。



### FACILITY 05

#### 春日ラーニングcommons(KLC)

全学計算機やプリンタを利用したり、グループ学習や発表の練習などを行う共有スペースです。上級生チューターに学修について質問できます。



# 海外での学び

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

海外の大学や図書館、情報センターでの学びを実現するために、国際インターンシップや海外研修助成、ピッツバーグ大学との共同教育プログラムを実施しています。

## 国際インターンシップ

筑波大学は知識情報学の国際的研究教育拠点であり、世界的な交流が行われています。その交流関係を活かして、2009年度よりカナダ、アメリカ、ドイツ、中国、韓国、台湾における様々な図書館や情報センターと連携した「国際インターンシップ」を開講しています。受講者は研修先に10日間ほど滞在し、相手国の図書館や情報センターの業務を見学・実習することで、国際感覚やコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を養います。最近の研修先と受講者数は表を参照してください。また、ピッツバーグ大学や釜山大学など、海外の学生が筑波大学を訪問した際には、講義や見学をとおして、日本の図書館や関連機関について学ぶ機会も提供しています。

## 海外研修助成

同窓会である図書館情報学橋会の支援を受け、知識情報学に関する国際的な知見を深めるための短期海外研修事業として「図書館情報学海外研修助成」を実施しています。この事業では、学生が自ら作成した海外での研修プランに対して、渡航費や滞在費などが助成されます。

## 図書館情報学3/4+2 共同教育プログラム

米国ペンシルベニア州のピッツバーグ大学大学院計算情報研究科(School of Computing and Information)との共同プログラムです。学類を3年で早期卒業し、同研究科図書館情報学プログラム(修士)に進学できます。通常卒業4年でも進学可能です。参加条件はGPA3.25以上、TOEFL iBT80点以上で、対象者は図書館情報学プログラムを受験する際、GREが免除されます。ピッツバーグ大学はQS大学ランキングの図書館情報学分野で全米10位の有名校です(2022年1月時点)。



国際インターンシップで学類生が訪れたシュトゥットガルト市立図書館(ドイツ)

### 【国際インターンシップ受講者数】

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
アメリカ(ハワイ大学、ミシガン大学、ピッツバーグ大学)	2	1	1	1	1	1	—
中国(上海図書館)	—	2	—	2	—	—	—
韓国(釜山大学)	1	1	2	1	—	—	—
ドイツ(シュトゥットガルトメディア大学)	—	—	—	—	2	2	3
台湾(台湾師範大学)	—	—	—	—	—	—	2

(新型コロナウイルス感染症のため、2020～2022年度は実施せず)

## Students' interview

# 在学生インタビュー

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

### 呉 伯謙 Wu Boqian

1年次 中国・広州市 華南師範大学附属高等学校出身

この学類は興味深い科目の宝庫です。たとえ課題に追われても、身につけた知識を実際に応用できるようになれば勉強がとても楽しくなります。本学で一緒に学びませんか。

#### Q&A

Q・留学先に筑波大学を選んだのはなぜですか。

A・母語である中国語、米国留学で修得した英語に日本語をプラスして、言語の力と理系の知識を掛け合わせた「機械翻訳」分野に進みたいと考えたからです。



### 竹内 真子 Mako Takeuchi

2年次 岐阜県立多治見北高等学校出身

大好きな図書館の可能性を追究したくて勉強しています。データベースや情報検索など、さまざまな観点から「図書館」を学ぶことで、新たな発想も生まれるかもしれません。

#### Q&A

Q・総合学域群からみた本学類の魅力は。

A・取り扱っている学問領域の広さが魅力。移行後に学類の専門を深める際、総合学域群で自分の興味に合わせて学んだことが思いがけず役に立った経験があります。



### 東中村 華帆 Kaho Higashinakamura

知識情報システム専攻 3年次 徳山工業高等専門学校出身

文理を問わず科目を選択できるので、3年次の春は情報技術、秋は公文書館などの資料管理について学修しました。各分野の専門家である先生から最先端の知見を学べますよ。

#### Q&A

Q・本学類に編入したきっかけはなんですか。

A・博物館が所蔵する資料を電子化していく動向に興味を覚えたことです。高専で得た技術に加え、情報を取り巻く社会についても知識を広げたいと思いました。



## 池ヶ谷 一輝 Kazuki Ikegaya

知識科学主専攻 3年次 名城大学附属高等学校出身

文系出身でもプログラミングを、理系出身でも情報史を学べるなど、分野横断的な学修環境が本学類の魅力です。苦手分野も仲間や先生方の力を借りて知識をシェアできますよ。

### Q&A

Q・知識科学主専攻を選んだ理由を教えてください。

A・もっとも学びたいと思っていた「コミュニケーション」を多角的な視点から掘り下げられるからです。ここで得た知見を活かし世界へアイデアを発信したいです。



## 小菅 静流 Shizuru Kosuge

知識情報システム主専攻 4年次 渋谷教育学園渋谷高等学校出身

「情報」が持つ大きな可能性を感じられる学類です。情報化社会へと移りゆく過渡期を生きてきた私も、情報の力でますます便利になっていく世界の面白さを実感しています。

### Q&A

Q・知識情報システム主専攻の特徴は何ですか。

A・コンピュータサイエンスに偏らず「情報」そのものを学べるのが特徴です。私はチーム開発を行うenPiTに参加し協働してプロダクトを作り上げる楽しさを知りました。



## 森本 ひのき Hinoki Morimoto

情報資源経営主専攻 3年次 山口県立高森高等学校出身

学業だけでなくサークルなど多彩な活動に取り組む学生が多数在籍しています。私自身は、学生組織の議長を務めました。ぜひ一緒に、充実のキャンパスライフを送りましょう！

### Q&A

Q・情報資源経営主専攻では主に何を学びますか。

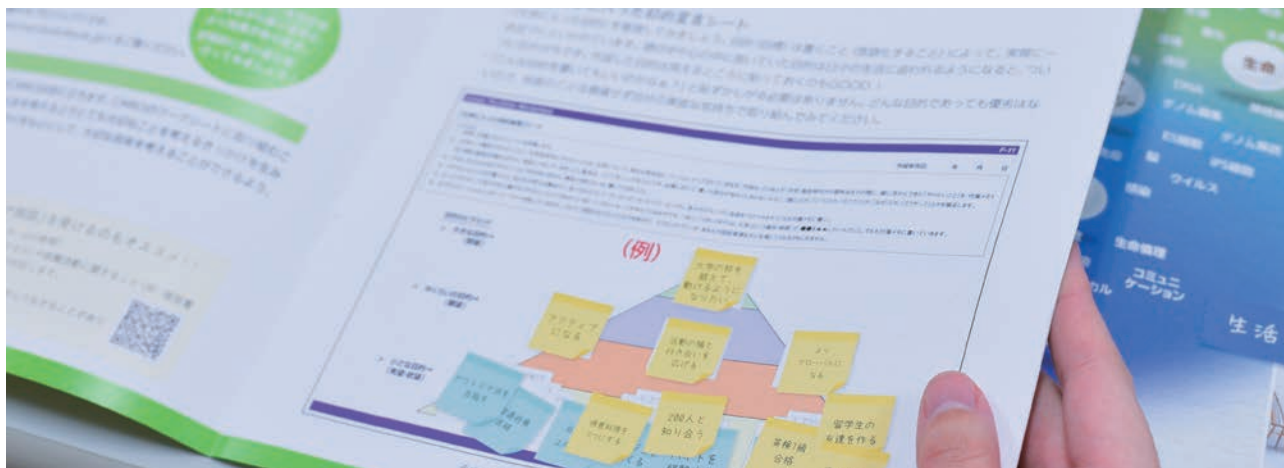
A・知識情報の観点から、知識共有に関する社会制度や文化などを学びます。私は議員インターンに参加して、子育て政策や教育政策の重要性を再認識しました。



# 進路／キャリアサポート

- 特色
- 学び
- 在学生の声
- 進路
- 入試情報

知識情報にかかわる広大な世界に触れる中で専門知識と技術を修得し、自らの可能性を広げてください。  
新たな可能性の発見は、自分にマッチしたフィールドにつながります。



## 卒業生の主な進路

### 進学

20～30%

- 筑波大学大学院：人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム、理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学学位プログラム、グローバル教育院（一貫制博士課程）
- 他大学大学院：広島大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、立命館大学大学院

### 就職

[一般企業]  
50～60%

- マスコミ・出版：日本放送協会（NHK）、朝日新聞社、テレビ東京、西日本新聞社、紀伊國屋書店、丸善雄松堂、くまざわ書店、パピレス、読売広告社、DNPメディア・アート、DMM.com
- 情報・通信：NTTドコモ、NTTデータ、NTTコミュニケーションズ、KDDI、ヤフー、ソフトバンク、日本電気、富士通、富士通ゼネラル、富士ゼロックス、富士ゼロックスアドバンステクノロジー、日立製作所、京セラコミュニケーションシステム、サイバーエージェント、Twitter UK、ナビタイムジャパン
- コンサル：アクセンチュア
- 商社・流通：楽天、丸紅、内田洋行、トーハン、図書館流通センター（TRC）、ファーストリテイリング、カスミ、ローソン
- 運輸・旅行：ANAウイングス、九州旅客鉄道、阪急阪神ホールディングス
- 金融・保険：ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、りそな銀行、常陽銀行、八十二銀行、大和証券、日本生命、損保ジャパン日本興亜保険サービス
- サービス：リクルートホールディングス、広芸インテック、東京ドームホテル、河合塾
- 製造販売：トヨタ自動車、資生堂、YKK

### 就職

[公務員]  
15～20%

- 官庁・自治体：厚生労働省、東京国税局、国立印刷局、国土交通省、青森県、岩手県、宮城県、茨城県、神奈川県、島根県、愛媛県、長崎県、北広島市、喜多方市、宇都宮市、坂東市、牛久市、水戸市、つくば市、柏市、市川市、板橋区、武蔵野市、静岡市、藤枝市、沼津市、浜松市、小松島市、福山市、東京都立図書館、香美市立図書館、宇治市立図書館、筑波大学、岩手大学、新潟大学、東京大学、東京学芸大学、横浜国立大学、信州大学、福井大学、京都大学、秋田県立大学、筑波大学附属高等学校

## SUPPORT 01

### キャリア相談室

キャリア相談室は「就職」「進学」に関する相談から、「学生生活を有意義に過ごすためには」「学んだことを将来どのように活かしたいか」など、幅広いテーマで学年問わず利用できます。「就職活動でこんな時どうする？」などのちょっとした疑問を解決するために利用する学生も多くいます。卒業生の進路や就職活動の様子など、学類独自の相談室ならではの情報提供やアドバイスも行っています。



### キャリアアドバイザーより

進路選択や就職活動に悩みはつきものです。そして悩みや疑問に大小はありません。キャリア相談室は学生のみなさんにとって、「ほっとひと息つけて、就職・進学から学生生活のことまでじっくり考え、話せる場」を目指しています。知識情報・図書館学類の卒業生は、

学類での学びを活かして幅広い分野で活躍しています。あなたの未来の可能性と一緒に考えてみませんか？

それでは

ドアを開けてお待ちしております。

キャリアアドバイザー 神村 孝子 先生



## SUPPORT 02

### 進路情報カフェ

進路を決めた4年生をゲストに迎えた進路情報カフェでは、何を基準に進路を考えたか、卒業研究とのバランスをどうとったのかなど、体験談から進路を考える機会となっています。



## SUPPORT 03

### キャリア支援

就活や進路について少人数で語り合う「ふんわり相談会」など、学生のニーズや学類の特徴に合わせた支援を行っています。



## SUPPORT 04

### 公務員採用試験対策

学類独自の公務員試験準備講座を2004年に開始し、2年の秋から4年の夏にかけて、隔週で教養模擬試験を実施しています。人文・社会・自然科学の知識の習得を支援し、公務員志望者だけでなく、大学院進学や企業志望者も活用しています。



## SUPPORT 05

### 進学支援

学類生の学びの視野が広がるように、1年次必修科目の「ファーストイヤーセミナー」と「アカデミックスキルズ」、3年次必修科目の主専攻実習等を通じて、大学院進学、海外留学、英語力の育成等の情報を随時提供しています。



# 卒業生インタビュー

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

他の大学では類を見ないほど  
興味をとことん追求できる

鈴木 友里亜 Yuria Suzuki

知識科学主専攻(2016年度卒) 茨城県立水戸第一高等学校出身  
東京レコードマネジメント株式会社 福島復興支援グループ勤務

哲学や社会学に関心を抱きつつ司書職にも興味があった私にとって、文系理系にとらわれず学際的に学べるのは願ってもない環境でした。在学中は文理の科目を幅広く履修し、各分野の調査手法も学びました。特にデジタルアーカイブに関する専門的な知識は、福島県の震災復興に携わる現在も大いに役立っています。本来の業務である自治体の文書管理や写真資料の作成、図書館新設に向けた蔵書管理のほか、個人の蒐集品をアーカイブする新サービスの立ち上げにも関わりました。今後も、学類での経験を糧に実際的な分野へと視野を広げ、実務に活かせるよう努めます。また、文書・記録管理の重要性も周知していければと考えています。

文理が融合した教育環境は  
「学びたい」を叶えてくれる

稲福 和史 Kazufumi Inafuku

知識情報システム主専攻(2017年度卒) 沖縄県立那覇国際高等学校出身  
株式会社リクルート勤務

幼少期から典型的な本の虫だった私がKLIS\*を選んだのは必然かも知れません。特に魅力を感じたのは、図書館情報学を扱う唯一の国立大学でありながら哲学や数学、芸術なども分野横断的に学べ、幅広い知識と教養を身につけられる点です。私は、研究に携われる講義「知的探求の世界」をきっかけに博士後期課程への進学を決心し、自らの専門性を深めていきました。2・3年生という早い段階からの積み重ねで得た研究実績は、インターンシップや就職活動においても大きなアピールポイントになったと思います。長い学生生活で日々移り変わる興味を与えてくれるKLISは、私に文理融合の学びと研究活動の楽しさを教えてくれました。

\* KLIS: 知識情報・図書館学類の略称



## 未知の世界との出会いで 新たな可能性がひろがる

矢澤 愛実 Ami Yazawa

情報資源経営主専攻(2019年度卒) 茨城県 水戸葵陵高等学校  
水戸市役所 市長公室 みとの魅力発信課勤務

図書館や本について学びたい!と狭い視野で入学した私が、気付けば、情報数学の面白さにのめり込んだり、コンピューターの歴史に思いを馳せたり、プログラミングの奥深さに感動したりするまでに成長できたのは、文理や分野を超えた学習環境のおかげです。自分とは異なる分野に関心を持つ友人との出会いも刺激的でしたし、600もの企業が参加する学内の企業説明会では未知の職業の多さに驚き、将来について真剣に考えるきっかけにもなりました。好奇心のままに自分の世界を広げることができるのは、大学生ならではの特権です。今は興味の対象を絞れなくても、いろいろな経験することで、新たな自分と出会えるはずですよ。



## 図書館情報学橋会について

図書館情報学橋会は、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類及びその前身諸学校(筑波大学図書館情報専門学群、図書館情報大学、図書館短期大学)の同窓会として活動をしています。図書館情報学橋会の現在の会員状況は、1400名(2022年)です。

### 知識情報・図書館学類の前身諸学校及び沿革について

知識情報・図書館学類の前身となる文部省図書館員教習所は1921年に開設されました。以後、文部省図書館講習所、国立図書館附属図書館職員養成所、文部省図書館職員養成所、図書館短期大学、図書館情報大学と変遷し、さらに筑波大学図書館情報専門学群として統合、その後の改編を経て現在に至っています。

### これまでの活動

図書館情報学橋会では、定期総会開催時や筑波大学ホームカミングデー開催時に、卒業生や図書館関係者、大学関係者等による講演会などを企画し、卒業生間の交流の場を設けています。東日本大震災の1年後には、「一絆一 図書館と震災を語り継ぐ」を開催し、現地での図書館活動の様子を話していただく場を設けました。



2004年3月に橋会から寄贈された橋の記念樹

### KLIS卒業生メーリングリストについて

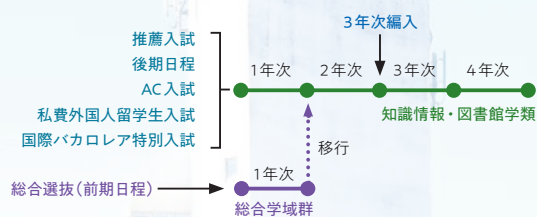
学類では2021年に「創設100周年記念事業」の一環として、教員・卒業生同士の情報交換と親睦のために、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類卒業生メーリングリスト「KLIS卒業生ML」をスタートさせました。メーリングリストには知識情報・図書館学類担当教職員及び卒業生、前身諸学校教職員及び卒業生が参加され、交流を深めています。

【図書館情報学橋会】 <https://tachibana-kai.com/web/>

# 入試情報

特色 学び 在学生の声 進路 **入試情報**

知識情報・図書館学類の入試には、推薦入試、後期日程、AC入試のほか、海外・国際的な教育を受けた人向けの私費外国人留学生入試および国際バカロレア特別入試、高専や短大、大学等からの編入が可能な3年次編入があります。また、総合選抜（前期日程）を受験して総合学域群で1年間学び、その後に知識情報・図書館学類へ移行することも可能です。



入試の種類	募集人員	選抜方法／概要とポイント	スケジュール
推薦入試	40名	小論文と面接・口述試験に基づく選抜 <b>論理的思考力とコミュニケーション能力</b> 小論文では、論理的に考え、それをきちんと表現できるかが重要です。面接（ビブリオバトル）では、本を推薦する説得力、他の人の発表に対する質問力、的確な回答力がポイントです。	9月上旬：募集要項公表 11月上旬：出願受付 11月下旬：入学試験
個別学力検査等（後期日程）	10名	大学入学共通テストと個別学力検査（小論文）に基づく選抜 <b>広い視野と論理的思考力、表現力</b> 共通テストでは、理科と地歴公民の配点を2つのパターンから選べます。小論文では、広い視野からの発想に加えて論理的思考力や表現力がポイントになります。	10月下旬：募集要項公表 1月中旬：共通テスト 1月下旬：出願受付 3月中旬：入学試験
AC入試	5名	自己推薦書と面接・口述試験に基づく選抜 <b>自分自身の課題でトライ</b> 自分で見つけた課題に自ら取り組み、その成果を自己推薦書として提出します。未知の課題を発見し、解決する能力をどれだけアピールできるかがポイントです。	6月下旬：募集要項公表 9月上旬：出願受付 10月上旬：第1次選考結果発表 10月中旬：入学試験
私費外国人留学生入試	若干名	日本留学試験とTOEFL、小論文、面接・口述試験による選抜 <b>知識と情報について学ぶ意欲と日本語能力</b> 小論文では、日本語で論理的に表現できるかがポイントです。面接・口述試験には、知識と情報について学びたいという意欲をもって臨むことが大切です。	9月上旬：募集要項公表 1月中旬：出願受付 2月下旬：入学試験
国際バカロレア特別入試	若干名	提出書類と面接・口述試験による選抜 <b>主体的に学ぶ意欲</b> 主体的に学ぶ意欲のアピールと論理的思考力やコミュニケーション能力がポイントになります。	6月下旬：募集要項公表 10月上旬：出願受付 10月下旬：第1次選考結果発表 11月下旬：入学試験
3年次編入	10名	提出書類と面接・口述試験による選抜 <b>これまでの学習内容と入学後の学習計画</b> これまでの学習内容と入学後に学びたいことを学習計画書として提出します。入学後にどのような知識や技術を身につけたいのかきちんと説明できるかがポイントです。	4月中旬：募集要項公表 6月上旬：出願受付 7月中旬：入学試験
総合選抜（前期日程）	45名*	大学入学共通テストと個別学力検査に基づく選抜 <b>基礎学力と得意領域での思考力、判断力、表現力</b> 文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲのいずれかの区分で受験し、1年次は総合学域群に所属、その後に学類・専門学群に移行します。知識情報・図書館学類では、筑波大学で最大の45名を受け入れています。	10月下旬：募集要項公表 1月中旬：共通テスト 1月下旬：出願受付 2月下旬：入学試験

\* 知識情報・図書館学類の2年次受入定員

## 大学説明会／オープンキャンパス情報

知識情報・図書館学類では、右記の説明会／オープンキャンパスを行います。入試のほか、カリキュラムや学生生活など、知識情報・図書館学類のことを詳しく知るチャンスですので、お気軽にご参加ください。詳しくは学類Webサイトに掲載します。

4月	3年次編入説明会
6～9月	推薦入試オンライン説明会（2回開催）
8月	筑波大学オープンキャンパス
9～12月	私費外国人留学生入試 オンライン説明会（2回開催）
3月	春の進学説明会

入試に関する詳細は、必ず「入学者選抜要項」および「学生募集要項」を参照してください。

問合せ先：筑波大学教育推進部入試課 TEL：029-853-6007

## Entrance examination by school recommendation

# 推薦入試（ビブリオバトル）

推薦入試の面接はビブリオバトル方式です。ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーとして全国に広がっている本の紹介コミュニケーションゲームのことです。本を推薦する説得力や表現力に加えて、質問力、質問に対する回答力などの能力を多面的に評価します。

一般的な面接では、どんな話題で議論するか事前に知らされないことが多く、話題によっては実力を発揮できないこともあります。一方、ビブリオバトル方式では、自分の選んだ本で試験に臨み、その本についての紹介やディスカッションができることが一般的な面接との大きな違いです。

出願資格と推薦要件は以下の通りです。1校で推薦し得る人数の制限を撤廃するなど、より多くの方に受験の機会が得られるようにしました。

### 出願資格

既卒者も出願可能です。出身学校長の推薦が必要です。

### 推薦要件

下記のいずれかに該当する者とし、1校で推薦し得る人数は制限しません。

- (1) 調査書の学習成績全体の平均評定値が4.0以上の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
- (2) 知識や情報に対して明確な問題意識を持ち、それらに関する自主研究や部活動、社会活動において優れた実績を有する者（実績を証明する客観的資料があれば添付のこと。）
- (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

## Q&A

Q: 使用する本の種類や制限を知りたい。

A: 公序良俗に反する本や紹介でないかぎり、どのような本でもかまいません。文学作品が比較的多いようですが、ライトノベルやハウツー本が使われたこともあります。電子書籍も可です。

Q: どのような点を評価しますか。

A: 本を紹介する時の説得力や表現力、ディスカッションにおける質問力や質問に対する回答力などを多面的に評価します。

Q: ビブリオバトルの実演を見たいのですが。

A: 8月のオープンキャンパスで推薦入試経験者による模擬ビブリオバトル等を行う予定です。ぜひご覧ください。

Q: 推薦入試の説明会はありますか。

A: 受験をお考えの方や迷っておられる方は、8月のオープンキャンパスにぜひご参加ください。模擬ビブリオバトルのほか、個別相談会で個別に質問・相談が可能です。また、進路指導ご担当の先生に向けて、オンライン説明会を6～9月にかけて2回開催予定です。

## STEP 00: 試験当日までの準備

自分が面白いと思った本を選び、他の参加者にその本に対する興味を持たせるよう5分間の紹介を考え、発表を準備してください。



## STEP 01: 入室まで

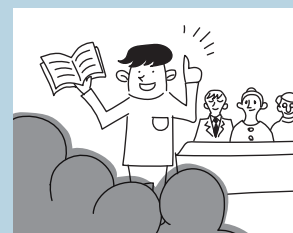
面接のグループ(5人前後)と面接順序は試験当日に掲示します。試験時間になったら、グループ毎に試験室に入室します。



## STEP 02: 本の紹介とディスカッション

全員でAとBを繰り返します。司会は面接員が行います。

- A) 本を5分間で紹介します。紹介する本以外の資料は提示できません。
- B) 受験生同士で2～3分ディスカッション(質疑応答)をします。



## STEP 03: 投票～試験終了

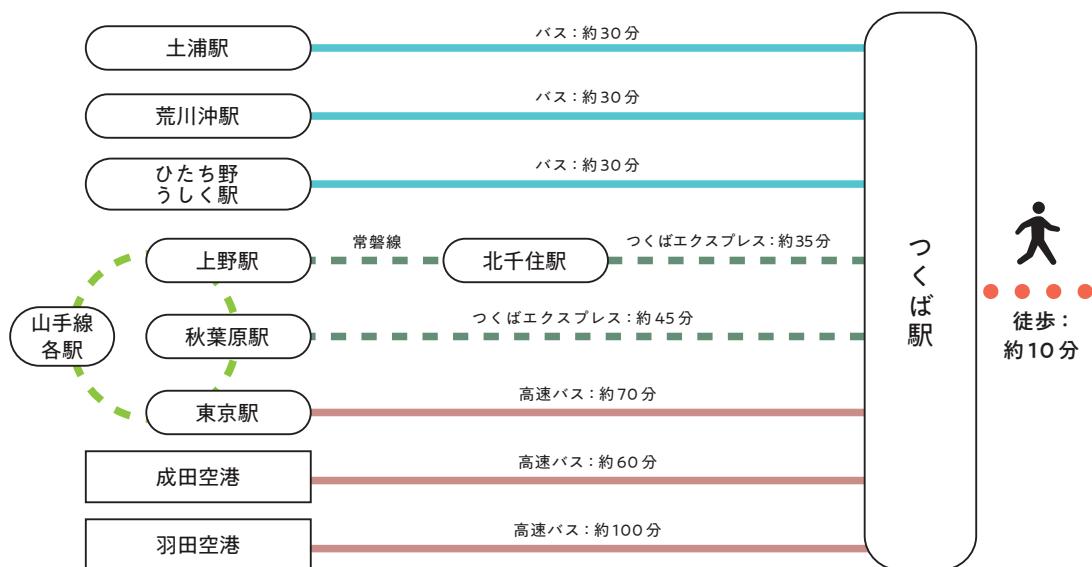
「どの本が一番読みたくなったか?」という投票を行い、チャンプ本を決めます。試験室から退室し試験終了となります。

※チャンプ本に選ばれることと面接の評価は無関係です。



# アクセス

Access



筑波大学 春日エリア  
(知識情報・図書館学類)

# 周辺マップ

Map



知識情報・図書館学類

College of Knowledge and Library Sciences

【お問い合わせ】 筑波大学 図書館情報エリア支援室  
〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2  
TEL. 029-859-1110 FAX. 029-859-1162

<https://klis.tsukuba.ac.jp/>  
[klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)

